

新型インフルエンザに関するお願い

現在、メキシコ、米国、カナダを中心に新型インフルエンザによるヒト感染症およびヒト-ヒト伝播が報告されています。地域医療の維持のため、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

ご心配な方、流行地に渡航後、発熱などの症状のある方は、東北大学病院には直接来院せず、まずお住まいの各保健所に設置される発熱相談センターに、ご相談下さい。

新型インフルエンザ感染症報告地域 (2009年5月7日現在):
メキシコ、米国、カナダ、オーストラリア、香港、コスタリカ、コロンビア、デンマーク、エルサルバドル、フランス、ドイツ、グアテマラ、アイルランド、イスラエル、イタリア、オランダ、ニュージーランド、ポルトガル、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、英国

※ 各地区保健所代表番号一覧 (夜間・休日も対応)

青葉区	022(225)7211
宮城野区	022(291)2111
若林区	022(282)1111
太白区	022(247)1111
泉 区	022(372)3111

石巻	0225(95)1430
塩釜	022(363)5504
大崎	0229(91)0714
気仙沼	0226(22)6661
仙南	0224(53)3121
栗原	0228(22)2117
登米	0220(22)6119

“咳エチケット”を守りましょう!

- 咳やくしゃみが出る時
- 咳やくしゃみが出そうになった時

まず、ティッシュで口と鼻を被いましょう。
(使用したティッシュはゴミ箱に捨てましょう。)

人ごみではできるだけマスクをつけましょう。

その後は、よく手を洗いましょう。
手洗い場が近くない時は、ウェットティッシュも代用できます。

風邪・インフルエンザなどを防ごう

- 咳やくしゃみが出る場合はどうぞティッシュなどをお使いください。
- 咳が強い場合はマスクをおつけください。
- 医師や看護師もマスクをつけさせていただく場合がございます。

厚生労働省東北厚生局 東北大学病院感染管理室

新型インフルエンザウイルスとは、動物（今回は豚）のインフルエンザウイルスが、人の体内で増えることができるように変化し、人から人へと容易に感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる疾患を新型インフルエンザといいます。症状は、発熱・悪寒・戦慄など通常のインフルエンザと似た症状とされています。

現在、メキシコ、米国、カナダといった北中米での罹患者が中心です。欧州・アジアなど他地域内で感染動向については今後注視する必要があります。また、日本国内における新型インフルエンザの流行は認められません。現在、通常のインフルエンザが少数みられています。

現在のインフルエンザワクチンによる新型インフルエンザ予防効果は期待できません。

新型インフルエンザも通常のインフルエンザと同様に、咳やくしゃみなどでヒトからヒトへ伝播します。

したがって、日頃からの手洗いやうがい、咳が出る際にマスクを着用するなど、基本的な感染予防の遵守が重要です。

東北大学病院長